学校番号	T3009

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	建築実習（CAD応用）	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次の実習で学んだＣＡＤの操作を元に、二級建築士試験の設計製図課題を例として取り上げます。授業では、手書きによるエスキースから始め、CADを用いた図面作成までを行います。
２年次に引き続き、図面の読み取りを学ぶとともに、いかに効率的に図面作成を行うかについて、実務にもそのまま用いることの出来る技術を身に付けることをめざします。
授業期間は前期もしくは後期で、３年次の実習4単位のうちの１単位に相当します。

２　学習の到達目標

【知識及び技術】二級建築士試験の設計製図課題を用いて、CADソフトのコマンドを、効率的に使用し作図できる技術を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】製図例を元に、プレゼンテーションボードなどを作成し、プレゼンテーションの手法を学ぶ。
【学びに向かう力、人間性等】実際の設計作業に応用できる作図力の育成をめざす。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ＣＡＤソフトを操作する技術や用いるコンピュータやソフトウェアに対する応用的な知識を習得し、それらをどのように用いれば適切な製図が出来るのかを理解する。	ＣＡＤを用いた製図において、どのような課題が発生し、どのような解決策があるのかを、基本的な知識や技術をもとに、適切に判断し解決策を創造する能力を身に付ける。	コンピュータの使用法やソフトウェアについて興味・感心を持ち、それらを用いた技法の更なる習得に取り組む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	ＣＡＤの応用	課題とテーマの設定 平面計画・断面計画	a：各コマンドの働きを理解し、適切に選択できる。 a：製図例を元に各図面を精確で効率的に作成できる。 ｂ：課題内容を理解し、適切に表現できる。 b：課題内容について、適切なプレゼンテーションを行える。 ｃ：建築物の設計に興味を持ち、ＣＡＤを用いた製図に、意欲的に取り組む。	確認テスト	提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		エスキースの作成 配置図				
		平面図				
		矩形図				
		面積表 プレゼンテーション				

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度